

＜耳鼻咽喉科の紹介＞

耳鼻咽喉科常勤医が秋田県内では大学病院以外で唯一3名おり、「広く深く」耳鼻咽喉科診療を提供できるよう日々努力しています。午前外来診療・病棟処置を実施し、午後は毎日手術（火曜日は外来日帰り手術）ができる体制をとっています。当科では、耳・鼻・咽喉頭・喉頭はもちろん唾液腺・甲状腺にも十分な対応ができ、また、顔面・頸部の各種外傷にも対応しています。外来に硬性・軟性内視鏡、電子スコープ、顕微鏡、マイクロデブリッター、高周波電気凝固装置、超音波診断装置を常備しており、ある程度までの手術・エコーガイド下の処置は外来でも実施しています。検査機器についても、OAE・ABRも外来検査室に常備して、ほとんどの精査が実施可能です。また、チタンミニプレート・顎間固定用スクリューなども常備して、突然の外傷にも対応できる体制をとっています。

大仙市・仙北市だけでなく横手・湯沢地方も含めた県南地域（人口33万）の頭頸部癌治療を引き受け、頭蓋底手術・開胸・血管吻合を要する再建外科などの複雑な手術も実施してきており、常に最先端の医療を提供できるように心がけています。さらに、秋田県内では実施できないサイバーナイフ治療や悪性黒色腫の免疫療法などを希望される方には積極的に県外各医療機関と連携をとり、毎年数名が特殊な治療を受けてきています。

突発性難聴にはステロイド治療を基本とし、経過不良例には星状神経節ブロックを、顔面神経麻痺にはステロイド大量療法を実施しています。